

助成プロジェクト実施の報告

初年度（2023）

子ども若者の体験や学びの機会を支える

助成プログラム

学校
対象

たかまつ讃岐てらす財団（通称「てらす財団」）は、どこかの「誰か」ではなく、市民が「みんな」でお金を出し合っただけでつくったコミュニティ財団です。2023年5月27日のキックオフ以降2023年8月31日までの約3ヶ月間で、644名の方から562万円余りの設立寄付をお預かりしました。財団設立に必要な300万円を除いた寄付金を、初年度の助成原資として活動をはじめました。本プログラムでは、そのうち116,000円を助成しましたのでご報告いたします。

学校対象
子ども若者の体験や
学びの機会を支える
助成プログラム
10/27
申請受付
START
地元が好き
いつかは戻ってきたい
そんな気持ちを胸に
進路選択に望む姿があってほしい



趣旨

教育の最前線で子どもたちと関わる小中学校、高校、支援学校等の先生方の取組みに助成します。公教育の場において地域と関わり、子どもたちの地元への愛着形成や自己成長につながる体験を提供し、地域への長期的な効果や影響を生み出す環境づくりにつながる取組みの創出を推進します。

実施期間 2023年10月27日(金)～2024年2月29日(木) 助成総額 116,000円（3件）

第11回SBC本島ビーチクリーンアップ

学 校：香川県立坂出高等学校

助成額：26,000円

概 要：12月16日、本島(丸亀市)にて本島さかな部と共にビーチクリーンアップ活動を行う。

成果

回収した海ごみの量 可燃物 52.4kg

不燃物 30.0kg 合計 82.4kg

本島で活躍されている「本島さかな部」の大石さんと連携を取ることができた。また、香川大学経済学部の学生さんとも活動することができ、今後も継続して本島のビーチクリーンアップ活動を続けていこうと思った。

（参加生徒のコメント）

島の子もたちと仲良くなれたし、本島の歴史を知れてよかったです。また、ペットボトルを買うことが、ごみを増やしているということに改めて気がきました。



岡内 博信 先生のコメント

助成事業を活用することで、地元の方とも一緒に活動をするきっかけにもなりました。高校生は地域の即戦力です。環境課題に関心を持った若者が社会で活躍することを期待しています。

漫才ワークショップ in 屋島西小学校 ~おでかけよしもと放課後クラブ~

学 校：高松市立屋島西小学校

助成額：40,000円

概 要：児童が考え、練習してきた漫才をプロの芸人に披露後、コメントをもらい、地域の大人など他者に伝える力を身に付ける。

成果

ジェスチャーゲームを通じて体を大きく動かすことで相手への伝わり方が変わることを学び、表現力を伸ばすうえで大きなヒントを得ていた。プロの意見を聞いたり、価値づけをしてもらうことで、これまでしてきたことに自信をもったり、改善することが分かったりしていた。終始、児童が笑っており、目標を意識した充実した時間を過ごせていた。



坂井 冴耶佳 先生のコメント

「おいでまい屋島西」さんのお年寄りに、漫才で笑いを届けることに挑戦。「少しでも幸せな気持ちになってくれたらうれしいです」という児童の言葉に「幸せな気持ちになったよ」と返して下さり、児童にも笑みがこぼれていました。

※おいでまい屋島西…コミュニティセンターで定期開催している集いの場

フレンドシップ事業 「虹の部屋こどもの居場所プロジェクト」

学 校：フレンドシップ実行委員会

助成額：50,000円

概 要：地域の建築士から助言をもらいながら通室生が話し合い、「虹の部屋」を落ち着ける場所に変える。

成果

今まで虹の部屋の活動はスタッフで相談して決めており、子どもたちに活動のアイデアを聞くことがあまりなかった。今回来ていただいた講師は「学校」や「不登校の子ども」という枠にとらわれず、子どもたちの可能性を信じ、やりたいことを引き出してくれたように思う。普段の活動では個の活動や少人数での活動が多かったが、フラドームづくりでは協働の作業が多くあり、文化祭のような非日常感を子どもたちも楽しんでいた。



熊田 知香 先生のコメント

今回の活動を参考にしながら、子どもの自主性やアイデアを生かせる活動を増やしていきたいです。また、この取り組みを高松市内の小・中学校に紹介し、今後整備されていく「校内サポートルーム」の居場所づくりの参考にしてもらいたいと考えています。

一般財団法人 たかまつ讃岐てらす財団

〒760-0017 香川県高松市番町一丁目5番1号 高松市創造支援センター内

☎ 080-8191-7517 ✉ info@sanuki-tellus.jp

フォローしてね!



@SANUKI.TELLUS